

日本の識字率は ほんとうに高いのか？

「当たり前」を問い直すために

野山 広・朝日祥之・横山詔一・竹本直也 著

日本語が母語ではない人や、視覚障害・聴覚障害をもつ人、義務教育の学びの機会をもたなかった人など、社会の中で見えにくい立場にある人々の言語使用の実態は、どう把握すればいいのか。これからの日常をみんなで考えるために。

目次

はじめに——「当たり前」を問いなおすために（小磯花絵・朝日祥之）

第1部 「日本人の識字率が高い」は共同幻想？ ——約80年ぶりの識字調査への挑戦と課題（野山 広）

- 1 自分の識字率を測ってみたい——夜間中学生徒の要望
- 2 日本では全国識字調査は一度しか行われていない
- 3 1948年の識字調査で出された問題とその方法
- 4 世界の識字調査に目を向けてみると
- 5 新しい識字調査の問題をどう作るのか
- 6 多様な日本語使用者がいる現在の日本
- 7 どのように調査を実施するのか
- 8 調査後のサポート方法
- 9 みんなに調査を受けてもらうために
- 10 識字調査を行う意義——現在の日本で「リテラシー」をどう考えるのか
- 11 質疑応答

第2部 これまでとこれからの日本の識字を考えるために

- コラム① 1948年の識字調査の結果はどう分析されたのか（朝日祥之）
コラム② 日本人の読み書き能力にAIは興味・関心をもつか（横山詔一）
コラム③ 脳の損傷は読み書きにどのような影響をあたえるのか（竹本直也）

ISBN978-4-86766-102-4 A5判・並製・96頁

定価**1,430円**（税込）



多様な日本語使用者がいる現在の日本のために
誰もが読み書きできるのは「当たり前」ではありません。
その日本で、いま、「リテラシー」をどう考えるのか。
基本となる事柄がわかる本です。

2026年
2月
最新刊



自治体、自治体職員、公共図書館、中高図書館、大学図書館、必携書！

【注文書】 **FAX 03-5939-9094** メールでも承ります●info@bungaku-report.com

問い合わせはお電話で●03-5939-9027

取引取次●八木書店。八木書店を経由して、トーハン・日販・楽天・日教販・中央社等へ搬入いたします。

●番線印

●冊数

新刊 文学通信

コミュニケーションの未来を創る vol.2

日本の識字率は
ほんとうに高いのか？

「当たり前」を問い直すために

野山 広・朝日祥之・横山詔一・竹本直也 著

冊

ISBN978-4-86766-102-4 本体価格**1,300円**（+税）

◎ご担当者

◎電話番号



文学通信

★日本文学研究関連の情報を幅広く収集、毎日更新中!ぜひご覧下さい→ <http://bungaku-report.com>

〒116-0012 東京都荒川区東尾久8-41-10 樫の木学園3階 電話03-5939-9027 FAX03-5939-9094 info@bungaku-report.com